

・事業名

飯舘村における将来世代への復興知継承に向けた教育研究プログラム

(代表 溝口勝)

【採択大学名：東京大学】 【連携市町村：飯舘村】

・目的

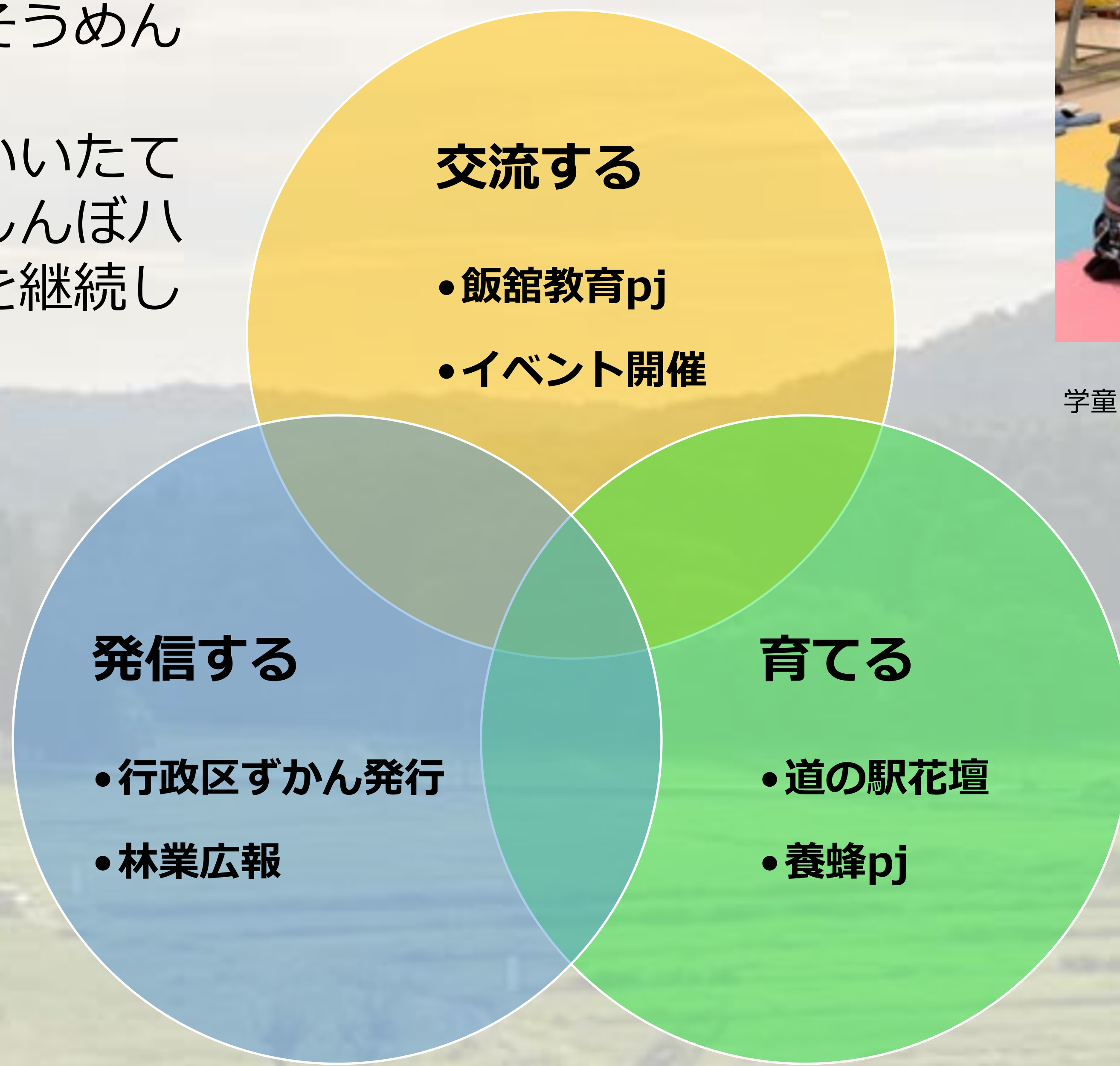
飯舘村の農業復興には放射能汚染というハンデにめげずに新しい農業にチャレンジする将来世代を育成する基盤づくりが肝要である。これまでの活動で培った大学の復興知を活かして学生と教員が現地の方々と協働で研究を進めながら、村の農業実践者や小中学生・高校生と交流を深め、村の将来像を描ける人材育成活動を展開する。

---東大むら塾 飯舘Gの活動---

私たちが大切にしているのが、村に関わる様々な方との交流です。他大学の学生を交えた学生サミットや、地域の方をお招きした流しそうめんなどを開催しています。また、村内唯一の小学校、いいたて希望の里学園の学童、つくしんぼハウスの子供たちとの関わりを継続しています。



←動画はこちらからご覧いただけます。



学童、つくしんぼハウスでの交流の様子↑



道の駅花壇の様子↑

私たちは飯舘の「いま」を取材し、発信することを大切にしています。森林組合と協力して各種動画の作成に取り組んだり、20ある行政区の風土や文化をまとめた『行政区ずかん』を発行したりしています。



行政区長様を取材した際の様子↑

飯舘Gでは、地元の農家さんのご協力のもと、いいたて村の道の駅までい館の裏庭に花壇を設置し、以来管理を続けています。福島大学の学生らとも協力し、シーズンごとに植付けを行っています。

むら塾からのクイズに挑戦！

村の中心にある「いいたて村の道の駅までい館」の「までい」を正しいニュアンスで使っているのはどれ？

- ①じゅうねん（えごま）はまでいに育てよう
- ②それはピクニックにアリを招待するのとおなじぐらい、までいなことだ
- ③ちょっとそこまでいってくる